

平成29年度

北海道教育大学旭川校
地域連携活動事例紹介



平成30年6月

北海道教育大学旭川校地域教育連携・貢献推進委員会

目 次

解 説

地域教育連携・広報報告シートについて	・・・ 3
--------------------	-------

報告シート

・ 旭川市通学合宿	・・・ 4
・ 浜頓別町「土曜学習塾」	・・・ 5
・ 通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」	・・・ 6
・ 鷹栖町土曜学習教室「がんばるど」	・・・ 7
・ ちょこっと学習（チャレンジ教室）	・・・ 8
平成29年度なかとんべつ放課後子どもプラン ・ 子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2017夏 子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2018冬	・・・ 9
・ 枝幸町大学生フレンドシップ事業	・・・ 10
・ エデュケーションカフェ2017	・・・ 11
・ 旭川西高校ゼミ体験学習	・・・ 12
・ 旭川東高校との教育系ディスカッション	・・・ 13
・ 道北おとぼけキャラバン	・・・ 14
・ 小学校金管バンドの指導支援ボランティア	・・・ 15
・ 夏休みチャレンジ教室	・・・ 16
・ JA北海道およびあさひかわとの「トマト体験塾～加工トマト収穫編～」	・・・ 17
・ JA北海道およびあさひかわとの「稲作体験塾～稲刈り編～」	・・・ 18
・ 北星地域のウォーキングルートマップ（フットパス）を作成しよう ー北星まち協×教育大生ミーティングー	・・・ 19
・ 第13回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア	・・・ 20
・ 北オホーツク100kmマラソン大会ボランティア	・・・ 21
・ 北海道教育委員会「ボランティアバンク事業」にかかる道北地域の学習サポート	・・・ 22
・ COOL CHOICEトークイベント ～気候変動による食料問題と地球温暖化対策～	・・・ 23
・ 砂川市地域力UP講座（第6回）	・・・ 24
・ 富良野市・森林学習プログラム推進事業に係るプログラムの開発と実践	・・・ 25
・ 旭川市立保育所各所における運動遊びと体力・運動能力測定	・・・ 26

付属資料

・ 学生ボランティア派遣事業（概要）	・・・ 27
・ 平成29年度 授業公開講座／一般公開講座一覧	・・・ 30
・ 平成29年度大学訪問受入／出前講座一覧	・・・ 31
・ 平成29年度 審議会等派遣一覧	・・・ 32
・ 平成29年度 講演会講師・助言者等派遣一覧	・・・ 36

【解説】地域教育連携・広報報告シートについて

このシートは、北海道教育大学旭川校の教員が主体として、または橋渡し役として行っている地域教育連携活動をまとめたものです。内容は、自治体や教育関係団体と本学教員が共同で行っている事業、本学教員による研修会・講演会、学生の派遣事業など多岐にわたっております。

なお、本報告は教員の自主申告に基づいており、必ずしも現在行われている地域教育連携事業のすべてを網羅したものではありません。また、内容が一部重複するところもあります。

シートの見方

各項目には以下が記載されています。

担当者（課）名：事業にかかわった本学教員及び関係者

事業名称：地域連携事業の名称

日付：地域連携事業が行われた日時または期間

内容：地域連携事業のおおよその内容、成果等

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	地域教育連携・貢献推進委員会
事業名称	旭川市通学合宿
日付	平成29年8月24日～26日(春光台小学校) 平成29年9月7日～9日(啓明小学校)
内容	<p>本事業は、地域住民によって構成される通学合宿実行委員会が主催者となって行われるもので、旭川市および市内各地区に設置されているまちづくり推進協議会との共催事業でもある。①「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに家族と離れて集団生活を送ることで、家族への思い、自立性・協調性を高める、②子離れ体験を通じて子供への関わり方を見つめ直すとともに、わが子の大切さを感じるきっかけづくりを行う、③地域住民や様々な団体が連携して少年の育成に取り組むことで、地域で子供を育てる意識を高めるとともに、地域の連帯感を高める、という3つの目的を持って実施されている。</p> <p>本年度は、春光台小学校・啓明小学校の4～6年生を対象として実施され、本学に対しては、春光台小学校において女子学生2名、啓明小学校において男子学生1名・女子学生2名の派遣を要請された。なお、本事業に参加した5名のうち、女子学生4名は教育フィールド研究Ⅲの対象事業として派遣を行った。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	地域教育連携・貢献推進委員会
事業名称	浜頓別町「土曜学習塾」
日付	8月を除く毎月土曜日(各月1回)
内容	<p>本事業は、「町内の小学校・中学校の児童・生徒が、月1回程度土曜日に定期的に学習することにより学力や体力の向上や習慣化を図ることを目的とする」ものである。参加対象は、小学校4-6年生と中学生で、小学生に対しては、英語・算数・運動(不定期)の3コース、中学生には数学コースを設け、運営者側が用意した教材にしたがって学習を進める。</p> <p>本学は、小学生向けの算数コースおよび中学生向けの数学コースについて、学生派遣を要請された。数学教育専攻の4年生から2名の学生の参加が決まり、7月までは交代で、9月からは2名体制で派遣を実施した。</p> <p>学生は、指導はもとより、教材の選定も任され、本事業に非常に高い貢献をした。また、学生の1名は、卒業論文の研究テーマと関連させて事業に参加することになった。</p> <p>学生が卒論を念頭に置いた受講者アンケートを実施したところ、非常に好意的で前向きな回答が多数返ってきており、事業の有効性がうかがわれる。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	地域教育連携・貢献推進委員会
事業名称	通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」
日付	平成29年7月2日～7月7日
内容	<p>本事業は、浜頓別町教育委員会が主催するもので、小学校4年生から6年生を対象に、「子どもたちが、異年齢の集団の中で共同生活をしながら通学をする生活体験により、協調性や社会性を養うことを目的とする」ものである。町内の永生寺で実施されて30年以上が経過している息の長い事業である。</p> <p>本学は、浜頓別町との相互協力協定に基づき、本事業に対して学生の派遣を継続して行ってきた。本年度は、国語科教育の女子学生が最終日を除く日程に参加した。</p> <p>本年度は以下のようなスケジュールとなっている。</p> <p>7月2日 オリエンテーション・夕食作り・銭湯体験 7月3日～6日 朝食作り・夕食作り・銭湯体験・後片付け 7月7日 朝食作り・まとめ</p> <p>学生は、活動全般で小学生をサポートした他、事業期間中毎日更新される浜頓別町教育委員会社会教育係ブログ・Facebook等のアップ作業も手伝った。なお、浜頓別町教育委員会社会教育係ブログは以下のURLから閲覧可能である。</p> <p>(http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/sed/)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携・広報報告シート

担当者（課）名	地域教育連携・貢献推進委員会
事業名称	鷹栖町土曜学習教室「がんばるど」
日付	平成29年7月，9月，10月，11月及び 平成30年2月の各土曜日
内容	<p>本事業は，小学生の3～6年生の希望者を対象に，「もう一度教えてもらいたい」「もっとできるようになりたい」という願いを聞き入れる場を提供することにより，児童の学習理解を深め，学習意欲を促し，その学年にふさわしい学力の習得を目指すべく，平成28年度から開始されたものである。学習活動のほか，毎回の活動の終わりにミニゲームなどを組み込む。</p> <p>鷹栖町のスタッフとして，学習支援員・特別支援教育支援員・学校教育指導主事が参加し，本学学生はアシスタントとして参加する。本年度は，7月から教育発達専攻と国語教育専攻の2年生各1名が通年で，前期に国語科と社会科の4年生各1名，後期は社会科教育専攻の4年生2名が参加した。延べでは，7月6名，9月5名，10月6名，11月6名，2月2名が参加した。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	地域教育連携・貢献推進委員会
事業名称	ちょこっと学習(チャレンジ学習)
日付	平成29年10月14日, 11月18日, 平成30年1月15日, 1月16日, 2月17日
内容	<p>本事業は, 上富良野町教育委員会が主催する, 小学4年生から6年生を対象とした連続講座である。ねらいとして, ①学校の授業以外で小学生が学習する環境(進んで学ぶ), ②年齢の近い中高生や大学生と学習する環境(楽しく学ぶ) ③地域ボランティアを活用し, 地域全体で小学生を見守る学習環境(人と関わって学ぶ)を構築することと定めている。国語・算数を対象とし, それぞれ30分ずつの学習時間の後にチャレンジテスト(40分)で学習の成果を測る。</p> <p>本学には, ②にかかり, 大学生の派遣が要請され, 不定期で計9回実施される事業のうち, 4回目(2名)・5回目(2名)・7回目(4名)・8回目(4名)の事業に学生が参加した。なお, 4, 5回目は教職実践演習(学生ボランティア派遣事業コース), 7回目(2日間)は教職実践演習(社会科教育)にかかる4年生の参加で, 8回目は社会学ゼミの有志が参加した。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	地域教育連携・貢献推進委員会 担当：芳賀 均
事業名称	平成29年度なかとんべつ放課後子どもプラン ・子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室 2017 夏 ・子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室 2018 冬
日付	・平成29年8月9日～10日 ・平成30年1月11日～12日
内容	<p>【夏】</p> <p>○対象 中頓別小学校 1年生～6年生 ○場所 学習：町民センター 和室ほか 運動：山村水泳プール，町民体育館</p> <p>地域社会の中で，異年齢の子ども・大人との交流並びに子どもたちの体験活動を通じ，心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに，地域の特色を活かした多様な学習機会を提供し，地域教育力の向上を図ることを目的として，①水泳にチャレンジ，②釣りにチャレンジ，③夏休みの宿題にチャレンジ，という3つの目標が設定された活動である。プログラム全般のサポートとして，2名の学生が参加した。</p> <p>【冬】</p> <p>○対象 中頓別小学校 1年生～6年生 ○場所 学習 中頓別町民センター レクリエーション室ほか 運動 寿スキー場，中頓別町民体育館</p> <p>夏と同様の目的のもと，運動と学習における目的を定め，挑戦する意欲を高める活動内容で進め，児童の体力づくりと学力向上を図ることが意図され，①「スキージュニアバッジテスト」にチャレンジ，②「道北の野生生物を知ろう」にチャレンジ，③「苦手な勉強(科目)」にチャレンジ，という3つの目標が設定された活動である。プログラム全般のサポートとして，3名の学生が参加した。</p> <p>スキーは，後日(1週間後)，ジュニアバッジテストが開催され，子供たちは合格したとのことである。</p> <p>また，参加した学生は音楽分野の所属であったため，翌年度11月の町民文化祭への出演を要請されたとのことである。2名の学生は夏・冬続けての参加で，冬はさらに1名が加わって3名となった。関心の高まった学生からは「大変有意義な活動でした」との報告があり，また教育委員会からも，好評をいただいた。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携・広報報告シート

担当者（課）名	地域連携・貢献推進委員会
事業名称	枝幸町大学生フレンドシップ事業
日付	平成29年9月5日～8日
内 容	<p>本事業は、本学旭川校と枝幸町による協力協定に基づき、枝幸町教育委員会が主催し、今回で10回目となる。今年度は、保健体育3グループ・音楽1グループ・技術1グループの3分野5グループが参加した。訪問先での活動内容は、訪問校の希望による活動と、学生が計画し実施する学生プログラムに分けられる。</p> <p>今年度の学生プログラムは、保健体育Aグループがタグ取り鬼ごっこと宝もの鬼ごっこ、保健体育Bグループが一心同体鬼ごっこ、保健体育Cグループは目隠しUFOとアルティメットといった、体育授業では扱われない運動をそれぞれの学校に応じて行う事ができた。</p> <p>音楽グループは、リトミック的な要素を取り入れた活動、楽器の体験を交えた音楽鑑賞活動、トーンチャイムにつながる活動、ストロー笛をつくって演奏する活動、自分たちの学校の歌をつくる活動などを、訪問先の学校の実情に応じてアレンジしながら実施した。</p> <p>技術グループは、Lego Mindstorms NXT（ロボットキット）の製作を行った。具体的には、小学校低学年について1モータ（前進後退のみできる）の車両型ロボットに距離センサを取り付けてスマートストップの体験を、それ以上の学年には2モータの車両型ロボットに光センサと距離センサを取り付け、ラインレース（黒い線に沿って進む）とスマートストップの体験をそれぞれの学校の実情に応じて実施した。（なお、技術グループおよび保健体育グループの4年生は、教職実践演習の一環として活動した）</p> <p>どのグループも受け入れ校から好評であり、枝幸町からは次年度以降も本事業を継続して欲しいと切望されている。その活動の様子は、北海道新聞の地方版および地元紙に記事として取り上げられ、多くの地域の方々に本事業を知って貰うことができた。</p> <p>なお、これらの実施にあたって枝幸町教育委員会は、各学校との調整、旭川から枝幸町への移動も含めた参加学生の交通費を、また本学では、学生プログラムの開発・実施、参加者の宿泊費について分担している。</p> <p>今年度も宿泊費は、大部屋の使用により経費節約を心掛けた。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	広報委員会
事業名称	エデュケーションカフェ 2017
日付	平成29年12月2日
内容	<p>本事業は、旭川近隣の、学校の教師を目指し、本学に興味・関心を持つ高校2年生を対象に、授業案作成と模擬授業を体験してもらうことを中心としたものである。「先生になって学校の授業をしてみよう!」とのテーマの下、本年度は国語・社会・数学・理科・音楽の5専攻・分野に協力してもらい、大学生の指導・助言の下で、高校生が授業を組み立て、実際にグループの代表者が短時間の模擬授業を行っている。</p> <p>本年度は、43名の高校生が参加、音楽に3名、その他の教科に10名ずつの高校生が割り振られ、各教科2名の大学生の指導の下で主に導入部分の授業の構成と代表者による模擬授業を実施した。数学では、「確率」を題材にして、実際にサイコロを使っての実験を実施、理科では、「マグマの粘り気によって変化する火山の形」というテーマで、実際に薬剤を使用した噴火の再現を行うなど、アクティブな内容が多くみられた。</p> <p>最後の、大学生および高校生の感想では、高校生の頑張りをたたえる意見と、授業づくりの楽しさに触れる感想が多く寄せられた。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	広報委員会
事業名称	旭川西高校ゼミ体験学習
日付	平成29年11月10日
内容	<p>本事業は、旭川西高校との高大連携事業の一環として取り組まれているものであり、西高の1年生を対象に、大学におけるゼミ活動に直接あるいは間接に参加し、大学における学習を体験させることを目的としている。タイムスケジュールは以下のようになっている。</p> <p>13:30 西高生来校 13:40 大学概要説明・OB, OG, 在校生からのメッセージ 14:20 移動 14:40 ゼミ活動への参加(15:30を目処に各自解散)</p> <p>今年度は、高校生の受け入れに応じてもらえた36のゼミに3名~20名の高校生を割り振り、ゼミ活動を体験してもらった。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	広報委員会
事業名称	旭川東高校との教育系ディスカッション
日付	平成30年3月28日
内容	<p>本事業は、教員志望者や教育学を研究したいと考えている旭川東高校の生徒が、広い視野で物事を捉え、自ら問題を発見し、意欲的にその解決に取り組み、教員や教育研究者として活躍するにふさわしい資質の養成を目指すべく、教員志望者のためのグループディスカッションを開催するものである。</p> <p>今回は、「全校道德の意義」「なぜ体罰はなくなるのか」「科学をより楽しむのにどのような教育をすればよいか」「子どもの貧困から生まれる学力格差」「どうして古典嫌いが生まれるのか」の5つのテーマを立て、それぞれ高校生と大学の指導・助言者が協力してパワーポイントのスライドを作成し、ディスカッションテーマを提示し、それに従ってディスカッションを進めた。ディスカッションには、高校教員や大学生も参加、今回は、取材をした旭川市の担当者も参加し、意見を述べた。</p> <p>各グループに10分の報告・30分のディスカッションの時間を割り振ったが、高校生を中心に活発な議論が展開され、ディスカッション時間が足りないと思われるほどの盛況であった。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携・広報報告シート

担当者（課）名	北海道教育大学旭川校芸術・保健体育教育専攻（音楽分野） 芳賀 均
事業名称	道北おとぼけキャラバン
日付	平成29年5月～平成30年3月
内 容	<p>音楽分野の音楽科教育担当教員（芳賀）と、外部の協力者（ヴァイオリニスト・早川氏）、および音楽分野の有志学生により、平成29年度は、主に以下の活動を行った。（※印は学生の関わったもの）</p> <p>H29.5 「出前演芸」【音楽鑑賞教室（ヴァイオリン豆知識教室）】（旭川市立近文小学校）</p> <p>H29.6※「出前授業」【《学生楽団》音楽鑑賞教室】（名寄東小学校公演）</p> <p>H29.7※「出前演奏」【音楽教育コンサート】（幌加内中学校）</p> <p>H29.7※「出前演奏」【楽しい音楽教育コンサート】（浜頓別町役場・町民ホール）</p> <p>H29.8※「出前演奏」【《学生楽団》体験を交えた音楽鑑賞教室】（名寄市立風連下多寄小学校）</p> <p>H29.8※「出前演奏」【フルート演奏会 in 旭川厚生病院緩和ケア病棟 act5】（旭川厚生病院）</p> <p>H29.9※「出前演奏」【フルート演奏会 in 旭川厚生病院緩和ケア病棟 act6】（旭川厚生病院）</p> <p>H29.9※「出前授業」【《学生楽団》音楽鑑賞教室】（留萌市立緑丘小学校）</p> <p>H29.10※「出前演芸」【楽器ものしりコンサート】（北見市立緑ヶ丘遊子児童館）</p> <p>H29.11※「出前演奏」【《学生楽団》出前アンサンブル】（旭川市立旭川小学校）</p> <p>H30.2※「出前演奏」【フルート・デュオ演奏会】（旭川厚生病院）</p> <p>H30.2※「出前授業」【ヴァイオリン演芸と学生アンサンブル】（音威子府小中学校）</p> <p>H30.2 「出前演芸」【ヴァイオリン演芸】（士別市立朝日中学校）</p> <p>H30.3※「出前演奏」【フルート・トリオ演奏会】（旭川厚生病院）</p> <p>H30.3※「出前活動」【音楽ゲームと電子機器を使った音遊び】（浜頓別町役場大会議室・浜頓別町多目的アリーナ会議室）2日日程</p> <p>本事業は、平成26年12月より、「道北おとぼけキャラバン」と称する、アウトリーチによる地域貢献としての音楽演奏等の実践である。音楽演奏の他、合科的学習を含む出前授業にも取り組んでいる。これまでの取組は、研究紀要や新聞の報道の文章からも、「演奏の出前」「芸術の普及」「需要の発掘」を達成するものとなっていると考えられる。また、音楽の分野に留まらず、地域貢献としての効果を得られたと考えられる。</p> <p>一方、本実践の意義として「演奏する学生にとっても、授業等の実践力の向上を図る場にする」「学生にとっては、通常の大学の授業によってのみでは得られにくい経験ができる。音楽の授業に近い形態で行う本コンサートの取組においては、授業方法について学べ、聴衆を相手にして実践する中で、それを経験することができる」といった点も挙げられ、教職への意識や地方への関心等に向上が見られた。</p> <p>すでに来年度に向けても、問い合わせが来ており、秋ごろの名寄市立名寄南小学校および旭川盲学校における活動を計画中である。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 芸術・保健体育教育専攻(音楽分野) 芳賀 均
事業名称	小学校金管バンドの指導支援ボランティア
日付	平成29年4月～平成29年11月 主に火曜日, および土曜日にも実施。
内容	<p>音楽分野の1年生が, 平成29年4月～11月にかけて, 少年団活動として旭川市立近文小学校において伝統的に行われている金管バンド活動の指導支援を行う活動である。この少年団は, 3～6年生の希望者で構成されるが, 特に最上級生が卒業して3年生の初心者が加入してくる春の活動が困難さを抱える。指導者は教員2名とボランティアの保護者若干名であるが, そこに, 外部ボランティアを導入することにより, 譜読みや演奏法等に関する指導上の効果を上げるとともに, 学生の意識改革を促すことを目的としている。</p> <p>また, 秋のコンクールに向けて, 学生も感情移入しながら一緒に取り組むことにより, 教育という営みの有機的な面に気付いてもらいたいと考えている。</p> <p>なお, この事業は「教育フィールド研究Ⅱ」の一部として実施している。</p> <p>本学旭川校は中学校の教員養成に力を入れているが, 本活動を通して, 教科の専門的な内容だけでなく, 教育という営みそのものに学生の意識が向いたことが大きな成果である。1年生の4月という, まだ教育実習を経験しないどころか入学早々の時期から, 継続的に(やがては中学生へと育てていく)小学生の子供たちと触れ合ったことにより, 受け手の気持ちに気付き, 一方的な指導に陥らない感覚をもつことができたようである。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 芸術・保健体育教育専攻 三浦 裕 (主催：利尻富士町教育委員会)
事業名称	夏休みチャレンジ教室
日付	平成29年8月7日～11日
内容	<p>平成29年8月7日(月)～11日(金)、利尻富士町立鴛泊小学校において『夏休みチャレンジ教室』が開催されました。この教室は、今年で9年目となる短期集中講座で、教員をめざす学生とのふれあい、自然とのふれあいを持ち、学ぶ意欲がある子どもたちに対して、学習機会や様々な体験を提供することをねらいとした事業です。今回は、本学の学生7名を派遣しました。</p> <p>教室には、75名の児童生徒が参加しました。5日間の活動メニューは、学習支援として夏休みの課題取組、苦手教科克服のほか、ミニポットづくりやLEDライトづくりなどの工作を実施しました。</p> <p>学生考案のスポーツ体験や宗谷教育局による自然観察・自然科学体験のほか、水てっぽう、水ばくだん遊びとプールゲーム、海水浴など多岐にわたります。4日目の夜は恒例のバーベキューとテントに寝泊りするキャンプ体験をしました。</p> <p>今後も事業の継続に向け、地域の明日を担う子どもたちを心豊かで健やかにはぐくむことを目指し、大学や地域との連携をより一層充実するため、更なる事業の充実に寄与していく所存です。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	旭川校 生活・技術教育専攻 川邊 淳子・小泉 匡弘
事業名称	JA 北海道およびあさひかわとの「トマト体験塾～加工トマト収穫編～」
日付	平成29年8月21日, 8月24日, 9月14日
内容	<p>本学と相互協力協定を締結しているJAグループ北海道およびあさひかわの協力を得て「トマト体験塾～加工トマト収穫編～」を実施し、旭川校の生活・技術教育専攻を中心に、国語教育・英語教育・社会科教育・理科教育45名の1～2年生の学生が、3日に分散して参加しました。</p> <p>これは「稲作体験塾」と併せて今年度から初めて実施したもので、旭川市内でも有名な東旭川共栄にある谷口農場さんの協力を得て、旭川でも収穫量の多い農産物の一つであるトマト、特にジュースなどに加工されるトマトの収穫を主としたものでした。20棟以上もあるビニールハウスを手分けして、赤く熟れたトマトをビニールケースに次々に収穫していきました。しゃがんだり、ビニールハウスの端から端まで歩いて、かごが重くなるまで入れたトマトをコンテナまで運んだり、収穫作業の大変さを身をもって感じているようでした。また、夏のビニールハウス作業は、思った以上に学生にとっては暑かったようで、半袖でも汗だくになりながら頑張っていました。特に体験した日はとても暑い日で、学生は短時間の収穫体験でしたが、夏野菜のトマトであると、何日間も同作業をすることになり、体力のいる仕事だということも実感していたようです。手で一つ一つ収穫する体験では、トマト一つ一つにも個性があり、一つ一つ丁寧に育てられていることを知り、大切に美味しく食べなければという当たり前を、学生自身も強く感じたようでした。</p> <p>トマト収穫体験でお世話になった谷口農場さんから、5月に田植えをした佐野彰俊さん圃場が近く、収穫体験の最後に、稲の成長の状況も観察して帰りました。約1ヶ月後の稲刈りが楽しみです。</p> <p>次回は、稲刈り体験と農家の母さんたちとの食事づくりを予定しています。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	旭川校 生活・技術教育専攻 川邊 淳子・小泉 匡弘
事業名称	JA 北海道およびあさひかわとの「稲作体験塾～稲刈り編～」
日付	平成29年9月24日
内容	<p>本学と相互協力協定を締結しているJAグループ北海道およびあさひかわの協力を得て「稲作体験塾～稲刈り編～」を実施し、旭川校の生活・技術教育専攻を中心に、国語教育・英語教育・社会科教育の43名の1～2年生の学生が参加しました。</p> <p>これは5月に行った田植え編の続編であり、旭川市東旭川旭正にある佐野彰俊さん圃場で、黄金色に色づいた稲を、1株ずつ手刈りをしていきました。わずかの面積でも、ずっと腰をかがめて刈る作業は大変で、何度も腰を伸ばしている様子がありました。コンバイン体験も予定して下さっていたのですが、前日からの雨の影響でとても圃場がぬかるんでおり、手刈りだけの体験となりました。自分の植えた苗の成長に驚き、また刈った稲を藁で束ねていく作業はことのほか難しかったようで、学生たちも農家さん達の手さばきを見ながら、苦戦しながらも頑張っていました。稲刈りを楽しみつつも、農作業の大変さと日々の苦労も実感していたようでした。それゆえに、田植えから稲の世話してもらっていた佐野さんやJAの方々への感謝もひとしおでした。</p> <p>さらに午後からは、農家の母さん達と食事づくりをしました。農家の母さん達の家で採れたお米や野菜などを使って、おにぎり・豚汁・じゃがいもとかぼちゃのいも団子のお焼きとおしるこを約50名分、一緒に作りました。大きな回転釜を使っての豚汁づくりや、調理台いっぱい広がるじゃがいもとかぼちゃだんご、一つ一つ愛情込めて握る新米のおにぎり、プロのお母さん達に色々教わりながら、一緒に作って食べる昼食は、最高の味となったようでした。地産地消の大切さや北海道の食の豊かさを感じると共に、実際に味わいながら、その食の向こうにある、生産者の方々の苦労と愛情をいっぱい心でもいただいているようでした。</p> <p>次回は、そばうち体験と稲藁のお正月リースづくりを予定しています。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	旭川校 生活・技術教育専攻 川邊 淳子・小泉 匡弘
事業名称	北星地域のウォーキングルートマップ(フットパス)を作成しよう ー北星まち協×教育大生ミーティングー
日付	平成29年11月14日, 16日, 21日, 30日
内容	<p>【概要】 北海道教育大学旭川校は旭川市北星地区に所在している。学生は地元出身者も多く自宅から通学する者も多いが、大学の周辺の下宿等で居住したりバイトをしている学生も多く、生活圏として北星地区がある。しかしながら、学生たちの関心事として、地域の中にある大学としての意識が弱く、さらに地域の良さの発見というところには至らないのが現状である。</p> <p>一方、北星まちづくり推進協議会としては、地域に根差した問題や良さの発見ということに敏感であり、多くの小・中学校との関わりはあるものの、大学は地域の財産と捉えていただきながら、なかなか有機的な関わりを持っていない現実がある。</p> <p>また、小学校家庭科においても、地域の人々との関わりの中で、様々なつながりを感じ、将来につながる地域の問題や良さを発見・追究・解決・発信という、問題解決的な学習を展開している。</p> <p>そこで4年目の今回は、昨年と同様、「初等家庭」受講生を対象として、北星まちづくり推進協議会の委員の皆様のご協力のもと、「北星地域のフットパスを作ろう！」というテーマとした。まず学生は北星地域の「残したい風景10選」と題して、10個程度北星地区のお気に入りの写真を学生が各自撮影し、その選定理由も考えてきた。裏テーマとしては、写真を撮るために地域内を動いてくれることを期待していた。その後、グループワークとして、各自選んだ10個の風景を各グループ内でプレゼンテーションを行い、北星地域のウォーキングルートマップ(フットパス)を作成した。その上で、模造紙(北星地区の地図を印刷したものを準備)に付せんや写真を貼り付け、各グループで10個を選び模造紙にルート設定した。必ずテーマやストーリーを考えた上で検討を行い、模造紙に整理したルートマップを作成した。</p> <p>北星のまちづくりの一助となる学びを、授業を通して協働で創り出していくことを目的としたものである。</p> <p>【成果】 今年度は4年目の試みであった。地域まちづくり推進協議会の皆さんは2年任期で変わらず、さらに委員の皆さんの意識の高さから、さらなる課題追究に続けていきたいという思いが強い。しかし一方、講義の一部として多数の学生を対象として実施する大学としては、学生は毎年変わり、カリキュラムの関係から、視点を多少変えたとしても、講義を越えてそれ以上の関わりを学生に要求することには限界もあるという課題も出てきた。地域の方々の多大なるお力を借りながら、大学としての地域へ還元できるものが少な過ぎるという、アンバランスさも影響しているのかもしれない。大学としては、学生の感想からも、今後もこのような取り組みをさらにして欲しいとか、近くにありながらよく分かっていなかった大学近隣について知りたくなったという感想も多く寄せられている大変有効な取り組みではあったが、今年度を持ってこの連携事業としては一つの区切りをつけ、北星地区としては、来年度以降新たな連携事業の模索をする予定である。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 生活・技術教育専攻 渡壁 誠(同実行委員会実行委員長) 川邊 淳子(同実行委員会副実行委員長)
事業名称	第13回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア
日付	平成29年11月12日
内容	本事業は毎年開催されている中学校技術・家庭科の学習成果を競う、上川管内の中学生の競技会である。また、教員サイドからは教員の教科指導や評価の研鑽の機会として位置づけられ、本年度で13回目の実施となる。競技会は家庭分野のエンジョイソーイング、技術分野の木工の匠(市販キットを用いた木工作品製作)およびロボットコンテストからなる。すべての競技は毎年行われる全国中学生創造ものづくりフェアにおける競技大会の規定を参考に企画され、授業の内容に即したレギュレーションを定め行っている。ロボットコンテストでは8月に事前講習会を本学教員が行っている。講習会において本学学生の製作したロボットを参考にデモンストレーションを行う。フェア当日には学生が全面的にサポートすることにより、現職教員や中学生とのコミュニケーションを図る。加えて、イベントの運営方法を学ぶ。

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 社会学ゼミ
事業名称	北オホーツク 100 kmマラソン大会ボランティア
日付	平成29年7月22日～23日
内容	<p>本事業は、浜頓別町が主催するウルトラマラソンで、今回で第7回となる。近年のマラソンブームもあり、また、本大会も年々認知度が高まり、700名を超える参加者が集まる。5時から始まり19時をリミットとする大会であり、さらには、参加者の増加も相俟って、ボランティアに対する需要が増加し、町内のボランティアのみでは運営が難しい状況になっている。</p> <p>2013年度末に浜頓別町を訪れた際、本大会への学生ボランティア派遣について話があり、以来、本学旭川校の社会学ゼミで大会にボランティアとして参加することとなっている。ゼミの年中行事の一つとして恒例化することになり、持続的な参加が可能な形となっており、今年度は教員1名と学生12名が参加した。</p> <p>本年度割り当てられた役割は、以下のとおりである。</p> <p>22日 前夜祭の準備・レセプション・後片付け手伝い</p> <p>23日 A班 仁達布エイドステーション手伝い(7:10-15:10) B班 仁達布エイドステーション手伝い(10:40-18:40) C班 大会会場リザルト掲示(11:00-19:00)</p> <p>今年度も天候に恵まれ、特に午後は日差しと風が強まる中、学生たちは大会運営に貢献してくれた。本事業への参加は4年目となり、浜頓別町にとっても、運営スタッフの一員として期待できる存在となっていると思われる。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 社会科教育専攻 角 一典 (主催：北海道教育委員会)
事業名称	北海道教育委員会「ボランティアバンク事業」にかかる道北地域の学習サポート
日付	下記のとおり
内容	<p>本事業は、北海道教育委員会が窓口となり、道内の市町村等が実施する教育活動を支援する大学生を仲介するものである。本年度、上川管内での本校学生の参加は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none">・東神楽地域未来塾 (H30. 1. 11) 1名・当麻町夏休みチャレンジ教室 (H29. 8. 1～8. 2) 各2名・当麻町冬休みチャレンジ教室 (H30. 1. 10～1. 11) 各3名・美深町冬休み学習サポート (H30. 1. 13) 1名・上富良野町ちょこっと学習 (H29. 10. 1, 11. 26) 各3名 (H30. 1. 10～1. 11) 1名・富良野市夏休み楽手サポート (H29. 8. 8～8. 9) 1名・富良野市冬休み学習サポート (H30. 1. 13) 1名・和寒町わっとさむクラブ (H30. 3. 27～3. 29) 延べ11名・しべつチャレンジスクール (秋) (H29. 10. 23～10. 26) 3名

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 社会科教育専攻 角 一典 (主催:旭川市環境総務課)
事業名称	COOL CHOICE トークイベント ～気候変動による食料問題と地球温暖化対策～
日付	平成29年9月16日
内容	<p>旭川市は、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」(賢い選択)の趣旨を踏まえ、さまざまな啓発事業を実施している。本事業は、食べマルシェ期間中に、駅マルシェ会場特設ステージ(JR旭川駅構内)を利用して、気象予報士の菅井貴子氏をメインに、「気候変動による食料問題と地球温暖化対策」というテーマでトークショーを実施したものである。近年の気候変動に関する話や北海道の気象の変化の話、それにとともなう食糧生産へのリスクの話題、そして、一人ひとりが生活の中でのようなことに注意して生活すれば、効果的な温暖化対策となるか、などについて語り合った。</p> <p>参考:旭川市HP(下記URL) http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/271/290/292/d062290.html</p>



【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 社会科教育専攻 角 一典
事業名称	砂川市地域力 UP 講座 (第 6 回)
日 付	平成 2 9 年 9 月 1 3 日
内 容	<p>本講座は、名称を変えながら今年で 5 年目となるものである。全 6 回の講座の最終回「活動アラカルト～様々な活動紹介～」を報告者(角)が担当した。参加者は、高齢者を中心とした一般市民(自治会役職者等も含む)と若手の市職員、合計で 18 名であった。</p> <p>講座の前半は、砂川市内で活動する 2 つの団体の代表者からの活動の報告と、質問シートを活用した質疑応答を行い、後半は「市民活動を立ち上げるために・持続させるために」と題して、参加者を 4 つのグループに分けて、付箋を活用したワークショップを実施した。ワークショップは、KJ 法を応用して、模造紙に概念的にまとめる形を取り、最後に、各グループ代表者を選出し、まとめた内容を発表した。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学 WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	---

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 理科教育専攻 安藤 秀俊
事業名称	富良野市・森林学習プログラム推進事業に係るプログラムの開発と実践
日付	平成29年9月5日～8日
内容	<p>平成29年9月5～8日にかけて、富良野市からの依頼を受けて、富良野市立樹海小学校の校庭および富良野市にある東京大学演習林において、樹海小学校の児童を対象に、森林学習プログラムを実施した。</p> <p>本学からは、当該教員(安藤)と、理科教育専攻の4年生の青木有紗と小原怜が参加した。プログラムの内容は、東大演習林を利用した自然体験活動で、卒業論文の一環として、授業プログラムは主に青木有紗が考案した。</p> <p>まず9月5日の3,4校時に、事前学習として樹海小学校で、東大演習林について学習し、更に校庭で模擬的な自然体験プログラムを実施した。ついで、次の6日の午前中に、東大演習林に入り、「神社山探検マップづくり」と称する自然体験プログラムを実施した。次に一日あけて、8日には事後学習として、樹海小学校で東大演習林で観察してきた事象やデジタルカメラのデータなどをもとに、マップづくりを行った。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

地域教育連携・広報報告シート

担当者(課)名	北海道教育大学旭川校 芸術・保健体育教育専攻 運動学ゼミナール 板谷 厚
事業名称	旭川市立保育所各所における運動遊びと体力・運動能力測定
日付	平成29年8月～平成30年3月
内容	<p>当ゼミナールでは、旭川市立保育所の協力・要請を受けて、保育所の子どもたちとの運動遊びを計画・実施し、子どもたちの体力・運動能力を測定しました。</p> <p>近文保育所では、平成29年11月に年長児を対象として週2回全8回(1回は40分程度)にわたり跳ぶことを重視した運動遊びを行いました。</p> <p>神楽保育所では、年中児と年長児を対象として平成29年8月と10月に、投げる動きを中心とした運動遊びを、各1回60分程度行いました。さらに、平成29年11月～平成30年3月には毎月2回、年中児と年長児を対象とした運動遊びを行うために、本学の2年生1名を定期的に派遣しました。</p> <p>新旭川保育所では、平成30年2月に2回、年長児を対象に、跳ぶことを重視した運動遊びを実施しました。</p> <p>子どもたちは学生との運動遊びに夢中になって取り組み、学生は子どもたちと向き合う中で子ども理解や(教師としての)自分自身のあり方についての気づきがあり、互いに多くを学ぶ機会となりました。</p> <p>体力・運動能力測定は、跳ぶことを重視した運動遊びによる子どもたちの体力・運動能力向上を検討するために10月と12月に各保育所で実施しました。この成果については、本学の4年生が、平成29年度旭川市立保育所研修報告会にて報告しています。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

学生ボランティア派遣事業（概要）

北海道教育大学旭川校
地域教育連携・貢献推進委員会

1. 本事業のねらい

相互協力協定を締結している北海道教育大学と旭川市との協力事業の一つとして、旭川校の学生を派遣要請のあった旭川市内の小・中学校に派遣することを通し、学生のボランティア意識の高揚や教職に求められる資質能力の向上を期待するとともに、確かな学力や豊かな人間性などの育成を目指し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな教育活動を支援することにより、地域社会への貢献と旭川校の実践的教育研究の充実を図る。

2. 事業開始

2005（平成17）年（後期12月）

* 当初、3年計画で実施。その後、事業の成果に鑑み継続実施し、現在に至っている。

3. 活動内容

少年団活動や部活動を除く、教育課程内の教育活動（学習指導、特別支援学級支援等）

4. 学生派遣までの過程等

(1) 1年間を前・後期の2期に分けて実施（前期：5月～9月、後期：10月～2月）

(2) 学生派遣までの流れ（前、後期共通）

- 1) 小中学校の申請のとりまとめ（市教委）
- 2) 説明会（大学）
- 3) 派遣校への通知（市教委）
- 4) 事前指導（大学）
- 5) 打ち合わせ（学生・派遣校）
- 6) 活動開始
- 7) 事後指導（大学）
- 8) 活動報告書の取りまとめ（大学、市教委）

(3) 活動計画書及び報告書Ⅰ・Ⅱの提出

- ・活動計画書：活動開始前に、学校との打合せ終了後に大学に提出
- ・活動報告書Ⅰ・Ⅱ：活動終了後に大学に提出

(4) 学生ボランティア派遣事業連絡協議会の開催

年度末の3月に、旭川教育委員会・旭川市小、中学校校長会・大学の三者でその年度の事業全体にわたっての事業報告・協議等を行い、次年度に生かす。

5. 派遣校及び学生実績数（2005年度後期～2017年度）

年 度	期	小 学 校			中 学 校			派 遣 総 数
		申請校数	派遣校数	派遣学生数	申請校数	派遣校数	派遣学生数	
2005 (平成 17)	後期	28	24	97	9	6	9	106
2006 (平成 18)	前期	20	20	70	10	7	8	78
	後期	27	21	61	8	3	5	66
2007 (平成 19)	前期	21	17	63	5	1	3	66
	後期	30	18	49	5	3	6	55
2008 (平成 20)	前期	24	18	54	9	2	9	63
	後期	32	22	62	7	6	15	77
2009 (平成 21)	前期	27	17	80	8	4	11	91
	後期	27	20	75	9	7	19	94
2010 (平成 22)	前期	19	7	27	10	7	11	38
	後期	28	17	59	13	11	26	85
2011 (平成 23)	前期	21	12	33	9	7	10	43
	後期	34	12	41	13	10	25	66
2012 (平成 24)	前期	13	11	22	10	2	2	24
	後期	34	16	37	15	6	13	50
2013 (平成 25)	前期	26	13	45	10	5	11	56
	後期	36	29	79	12	9	38	117
2014 (平成 26)	前期	29	13	39	13	8	14	53
	後期	39	25	88	12	7	18	106
2015 (平成 27)	前期	36	28	76	12	9	21	97
	後期	37	27	92	12	9	24	116
2016 (平成 28)	前期	38	16	47	11	8	21	68
	後期	35	23	82	11	8	26	108
2017 (平成 29)	前期	35	19	74	10	4	21	95
	後期	37	26	76	8	5	26	102

* 派遣学生数については、一人で複数校参加もあり、延べ人数を示す。

6. 活動内容の概要（2005 年度後期～2017 年度）

（1）学習指導の補助

小学校における算数や中学校における数学、英語学習の補助

- ・ 中学校においては、放課後学習、長期休暇中の学習への要請が増加している。小学校においては、学力が追いつかない児童及び軽度の発達障害を持った児童への個別支援が多い。
- ・ ミシン学習、水泳学習、スキー学習における個別指導
- ・ 生活科や総合学習で校外に出かける際の引率補助

（2）特別支援学級の児童生徒への指導補助

学習及び生活全般にわたる補助、普通学級との交流学习の際の補助、運動会や学芸会の際の補助

（3）学校行事への補助

運動会、遠足などの補助

（4）学校図書館運営の補助

学校図書館充実への補助、図書委員会活動への補助、本の読み聞かせ活動への補助

（5）不登校傾向の児童生徒への指導補助

7. 成果

- * 小・中学校の教育活動の充実（上記の「活動内容」についての貢献）
- * 学級経営上の効果（学生の態度が教職員の態度や学級の雰囲気に影響を及ぼしているとの声が聞かれる）
- * 大学としての主たる目的である地域貢献に寄与するとともに、教職を目指す学生にとっての実践的資質能力の習得及び向上に大きな貢献となっている。
- * 受け入れ学校及び旭川市教育委員会にとって、欠かすことのできない事業となってきている。

8. 小・中学校からの要望

- * 本事業の継続
- * 水泳学習やスキー学習への多人数の派遣
- * 特別支援学級への継続的な派遣
- * 通年を通しての同一学生の派遣

9. 課題

- * 参加学生増への取り組み
 - ・ 前期に活動できる環境の整備、遠距離学校への派遣（自転車以外の移動手段を持たない学生が増加している傾向があり、遠方への派遣が困難）
- * 受け入れ校に、一層の負担をかけずに、受け入れ校と学生との有効な連絡方法の模索

平成29年度 前期 授業公開講座開講一覧

前期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	有機化学	浅川 哲弥	3人
2	漢文学史(中国文学史)	大橋 賢一	10人
4	社会学概論	角 一典	8人
5	社会学演習 I	角 一典	3人
6	英米文学概論 I	十枝内 康隆	2人
7	音楽教育学概説 I	芳賀 均	3人
8	草書法 I	矢野 敏文	14人
9	篆書法 I	矢野 敏文	9人

平成29年度 前期 一般公開講座開講一覧

前期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	学校の音楽と童謡・唱歌の歩み	芳賀 均	6人

平成29年度 後期 授業公開講座開講一覧

後期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	漢文学講読 II	大橋 賢一	6人
2	現代と社会 II	角 一典	6人
4	社会学演習 II	角 一典	1人
5	社会調査論	角 一典	6人
6	音楽教育学概説 II	芳賀 均	1人
7	小学校音楽科教育法AH	芳賀 均	2人
8	小学校音楽科教育法BCD	芳賀 均	1人
9	小学校音楽科教育法EFG	芳賀 均	3人
10	日本文学概論(近代)	村田 裕和	8人
11	草書法 II	矢野 敏文	11人
12	篆書法 II	矢野 敏文	7人

平成29年度 大学訪問等実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	内容
29.04.17	北海道紋別高等学校 (1年生)	42人	施設見学・授業見学・出身学生との懇談 ※宿泊研修の一環
29.04.26	北海道枝幸高等学校 (1年生)	59人	出身学生との懇談・模擬授業・施設見学 ※宿泊研修の一環
29.06.22	北海道天売高等学校 (1・2年生)	8人	施設見学・授業見学・学食利用 ※宿泊研修の一環
29.08.24	中部大学第一高等学校 (2年生)	24人	施設見学・模擬授業 ※修学旅行の一環
29.08.31	留萌市立北光中学校 (2・3年生)	11人	模擬授業・施設見学
29.09.12	北海道旭川永嶺高等学校 (1・2年生)	44人	施設見学・模擬授業
29.09.20	北海道士別翔雲高等学校 (1年生)	89人	模擬授業
29.10.18	北海道東川高等学校 (1年生)	25人	授業見学・施設見学

平成29年度 出前講座実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	講師
29.07.19	北海道遠軽高等学校 (2・3年生)	22人	数学教育専攻 久保 良宏 教授
29.07.21	北海道旭川西高等学校 (1・2年生)	21人	芸術・保健体育教育専攻 保健体育分野 小出 高義 准教授
29.07.21	北海道旭川永嶺高等学校 (2年生)	33人	教育発達専攻 教育学分野 高橋 均 准教授
29.09.12	北海道留萌高等学校 (1・2年生)	10人	理科教育専攻 和田 恵治 教授
29.12.05	北海道旭川南高等学校 (2年生)	30人	教育発達専攻 教育学分野 高橋 均 准教授

平成29年度 審議会等委員派遣一覧

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川地方裁判所・簡易裁判所判事推薦委員会委員	26.12.18～29.12.17/ 29.12.18～32.12.17
旭川市・情報公開・個人情報保護委員会委員	27.10.1～29.9.30/ 29.10.1～31.9.30
旭川市教育委員会・旭川市図書館協議会委員	27.12.1～29.11.30/ 29.12.1～31.11.30
旭川市工芸センター・運営委員会委員	27.12.1～29.11.30
北海道教育委員会・北海道スーパーサイエンスハイスクール 運営指導委員会委員	27.5.15～32.3.31
旭川市環境部・廃棄物減量等推進審議会委員	27.6.1～29.5.31/ 29.6.1～31.5.31
旭川市教育委員会・旭川市不登校児治療教育推進委員会委員	27.6.1～29.5.31
旭川市教育委員会・旭川市民文化会館運営審議会委員	27.7.1～29.6.30/ 29.7.1～31.6.30
旭川市・子ども・子育て審議会委員	27.7.1～30.6.30
旭川家庭裁判所・家庭裁判所委員会委員	27.8.3～29.8.2/ 29.8.3～31.8.2
旭川市教育委員会・旭川市音楽堂等運営協議会委員	27.9.1～29.8.31/ 29.9.1～31.8.31
旭川市・旭川市国民健康保険運営協議会委員	27.9.6～29.9.5/ 29.9.6～31.9.5
旭川市・住居表示等審議会委員	28.1.26～30.1.25
旭川市地域振興部・景観アドバイザー	28.10.30～30.10.29
市立旭川病院・倫理委員会委員	28.12.27～30.12.26
旭川市・市民参加推進会議委員	28.2.27～30.2.26
旭川市・消費生活会議委員	28.3月～29.3月
旭川家庭裁判所・家事調停委員	28.4.1～30.3.31
旭川弁護士会・綱紀委員会予備委員	28.4.1～30.3.31
北海道大学高等教育推進機構・評価委員会委員	28.4.1～30.3.31
旭川市・旭川市国際交流委員会委員	28.4.12～30.4.11
国立大雪青少年交流の家・施設業務運営委員会委員	28.4.28～30.3.31

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市教育委員会・旭川市社会教育委員	28.5.1～30.4.30
旭川市都市計画部・都市計画審議会委員	28.5.1～30.4.30
上川教育研修センター・運営協議会委員	28.5.30～30.3.31
旭川市教育委員会・特別支援教育推進委員会委員	28.6.1～30.5.31
旭川市教育委員会・旭川市博物館協議会委員	28.7.1～30.6.30
旭川市・屋外広告物審議会委員	28.7.12～30.7.11
旭川市・旭川市生活館運営審議会委員	28.7.7～30.7.6
旭川市・旭川市食育推進会議委員	28.7月～30.7月
旭川市・旭川市緑の審議会委員	28.8.1～30.7.31
旭川市教育委員会・旭川市文化財審議会委員	28.8.1～30.7.31
旭川市教育委員会・旭川市文化賞選考委員	28.8.下旬～29.9.上旬
旭川市地域振興部・旭川市景観審議会委員	28.9.24～30.9.23
旭川市・あさひかわ北彩都ガーデン利用促進検討懇談会参加者	29.1.19～29.4.30
北海道・大雪山火山防災協議会への参画	29.11.27～30.3.31
旭川市・旭川市工芸センター運営委員会委員	29.12.1～31.11.30
国立大雪青少年交流の家・学校と青少年教育施設の連携による教科等の在り方検討委員会委員	29.12.26～30.3.31
旭川市総務部・総合庁舎建替設計委託プロポーザル審査委員会委員	29.3.3～29.7.31
旭川市・旭川市消費生活会議委員	29.3月～31.3月
旭川医科大学・遺伝子組換え実験安全委員会委員	29.4.1～30.3.31
旭川医科大学・病院医療安全監査委員会委員	29.4.1～30.3.31
旭川市・職員相談室相談員	29.4.1～30.3.31
旭川市教育委員会・教育支援懇談会構成員	29.4.1～30.3.31
第一管区海上保安本部・心の健康対策アドバイザー	29.4.1～30.3.31
北海道旭川高等支援学校・学校評議員	29.4.1～30.3.31

委嘱された審議会・委員会等	任期
北海道教育庁上川教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査会調査委員	29.4.1～30.3.31
北海道教育庁上川教育局・北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム員	29.4.1～30.3.31
北海道教育庁宗谷教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査会調査委員	29.4.1～30.3.31
北海道教育庁留萌教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査会調査委員	29.4.1～30.3.31
旭川医科大学・倫理委員会委員	29.4.1～31.3.31
旭川医科大学病院・遺伝子治療臨床研究審査委員会委員	29.4.1～31.3.31
旭川市・北彩都ガーデン2017イベント開催等業務委託受託候補者選定委員会委員	29.4.24～29.6月
旭川市環境部・環境審議会委員	29.4.24～31.4.23
北海道教育庁総務政策局・幼児教育相談員	29.5.16～30.3.31
北海道・北海道防災会議専門委員	29.5.17～30.3.31
旭川市教育委員会・旭川市適応指導教室運営委員会委員	29.5.22～30.3.31
旭川市・旭川市立地適正化計画策定検討会議への参加	29.6.1～29.9.30
旭川市・旭川市行財政改革推進委員会委員	29.6.1～31.5.31
北海道教育庁上川教育局・上川管内専門家チーム構成員	29.6.14～30.3.31
北海道教育庁上川教育局・上川管内特別支援連携協議会構成員	29.6.15/30.2.21
北海道教育庁留萌教育局・専門家チーム構成員	29.6.23～30.3.31
北海道教育庁留萌教育局・留萌教育局管内特別支援連携協議会構成員	29.6.26/30.2.19
国立教育政策研究所・プロジェクト研究に係る委員	29.6.30～30.3.31
旭川市教育委員会・旭川市教科書調査委員会委員	29.6.8～29.8.31
北海道教育委員会・認定講習検討会議構成員	29.6.9～30.3.31
旭川市教育委員会・教育委員会の事務に関する点検・評価に係る意見提出者	29.6月下旬～29.8月下旬
旭川市・聖苑附帯施設設計委託に係るプロポーザル審査会委員	29.6月～29.9月
旭川市教育委員会・学校評議員	29.6月～30.3.31
北海道教育委員会・学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー	29.6月～30.3.31

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市・旭川市奨学生等選考委員会委員	29.7.1～33.6.30
北海道教育庁学校教育局・実践研究検討会議構成員	29.7.12/29.12.14
旭川市教育委員会・中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会委員	29.7月～30.5.31
旭川市・旭川市ごみ減量等推進優良事業所認定審査会委員	29.7月～29.11.15
東川町教育委員会・運営指導委員会委員	29.8.28～30.3.31
一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム・「ユニバーサル検討会議」委員	29.9.29～30.3.31
武蔵野大学・文部科学省委託事業調査検討委員会委員	29.9.4～30.3.31
旭川市・旭川市住居表示等審議会委員	30.1.26～32.1.25
旭川市・旭川市特別職報酬等審議会委員	30.1月下旬～30.7月
北海道・ワーキンググループ構成員	30.2.20～30.3.31
旭川市・旭川市市民参加推進会議委員	30.2.27～32.2.26
北海道教育庁学校教育局・有識者会議参加者	30.3.5
北海道上川総合振興局・道北地方医療安全推進協議会委員	30.3.5～31.3.31

平成29年度 講演会等講師・助言者等派遣一覧

依頼された講演会等	開催日	対象者
北海道旭川東高等学校1学年「保健講話」	29.4.24	高校生
千葉県高等学校教育研究会理科部会総会	29.6.13	教育関係者
富良野市教育研究会音楽班研修	29.6.13	教育関係者
北海道滝川高等学校第2学年理数科特別授業・校外研修	29.6.16/ 29.6.20	高校生
北・ほっかいどうカウンセラー養成講座1級講座講師	29.6.20/ 29.6.23	講座受講者
旭川市立永山南小学校・校内研修	29.6.22	関係職員
旭川市立日章小学校・校内研修	29.6.26/ 29.8.28/ 29.10.6/ 29.11.10	関係職員
宗谷教育局・ほっかいどう学力向上推進事業	29.6.30/ 29.9.19/ 29.11.14	教育関係者
上川教育研修センター開催研修講座	29.6.7～ 29.10.4 (全19回)	教育関係者
石狩教育研修センター音楽科教育実技研修会	29.7.10	教育関係者
旭川地区広域補導連絡協議会研修会	29.7.12	関係職員
北海道旭川西高等学校SSH事業学習会	29.7.20	高校生
十勝教育局・地域連携研修	29.7.26	教育関係者
十勝教育研修センター研修講座	29.7.26/ 29.8.1	教育関係者
旭川市子ども総合相談センター研修事業	29.7.3	関係職員
東神楽町立東聖小学校・校内研修	29.7.4	関係職員
全国大学音楽教育学会北海道地区学会研究会・総会 基調講演	29.7.8	教育関係者
留萌教育局・中堅教諭等資質向上研修(小・中学校)	29.8.1/ 30.1.12	教育関係者
旭川市立西御料地小学校・校内研修	29.8.18	関係職員
旭川明成高等学校・校内職員研修	29.8.18	関係職員
仙台市教育センター・中学校数学科研修	29.8.2	教育関係者
発達障害者地域支援マネジャー研修会	29.8.3	関係職員
北海道私立幼稚園協会・教員免許状更新講習	29.8.4/ 30.1.11	教育関係者
高校生他のための学校教師未来塾in旭川	29.8.6/ 29.8.7	高校生

依頼された講演会等	開催日	対象者
北彩都ガーデンに生息する昆虫の勉強会	29.8.8	一般市民
旭川市・「COOL CHOICE」トークイベント	29.9.16	一般市民
地域生活支援研修会	29.9.17	一般市民
旭川市立東5条小学校・実践研究発表会	29.9.20	教育関係者
後志教育局講演「求められる算数科の授業」	29.9.20/ 29.9.21	教育関係者
北・ほっかいどうカウンセラー養成講座3級講座講師	29.9.5/ 29.9.7	講座受講者
北海道地区家庭相談員連絡協議会研究協議会	29.10.13	関係職員
和寒町教育研究会教育講演会	29.10.13	教育関係者
富山県発達障害者支援センター・発達障害アセスメントツール導入研修	29.10.15	関係職員
旭川市教育研究大会	29.10.17	教育関係者
宗谷教育局・教育相談員セミナー	29.10.19	教育関係者
旭川家庭裁判所・調査官自庁研修	29.10.2	関係職員
北海道学校体育研究大会旭川大会	29.10.20	教育関係者
上川教育局・子どもの体力向上ボトムアップ事業	29.10.25/ 29.11.8/ 29.11.15	教育関係者
旭川市屋外広告物講習会	29.10.26	関係事業者
胆振英語教育研究協議会・胆英研研究大会	29.10.26	教育関係者
北海道算数数学教育会第72回研究大会	29.10.27	教育関係者
保育心理士養成講座	29.10.28	関係職員
青森県発達障害者支援体制促進事業研修会	29.10.28/ 29.10.29	一般市民
上川管内教育研究会各地区研究大会	29.10.3/ 29.10.5/ 29.10.6	教育関係者
旭川市体育協会・親子チャレンジ運動教室	29.10.3～ 29.11.21 (全8回)	一般市民
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館・旭川彫刻散歩	29.10.9	一般市民
滝川市こども発達支援センター・発達支援研修会	29.11.11	関係職員
芦別市立啓成中学校公開研究会	29.11.17	教育関係者
留萌教育局・地域連携研修	29.11.17	教育関係者
スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会	29.11.18/ 29.11.19	一般市民
松前町教育研究所・書道科公開研究会	29.11.2	教育関係者
オホーツク地区特別支援教育研究大会	29.11.22	教育関係者

依頼された講演会等	開催日	対象者
石狩教育研修センター・中学校国語科教育理論研修会	29.11.24	教育関係者
オホーツク管内英語教育研究大会	29.11.28	教育関係者
旭川少年鑑別所拡大研究会	29.11.6	関係職員
東川町特別支援教育講演会	29.12.18	教育関係者
北海道北見北斗高等学校・SSH探求型学習ワークショップ	29.12.2	教育関係者
むかわ町教育研究会教職員研修会	29.12.25	教育関係者
上川教育局・中堅教諭等資質向上研修(小・中学校)	29.12.28	教育関係者
発達障がいのアセスメント等に関する研修会	29.12.3	関係職員
北海道旭川西高等学校・プレゼンテーション講座	29.12.4/ 29.12.5	高校生
足寄町・教育講演会	29.12.5	教育関係者
北海道特別支援学校養護教員研究協議会	30.1.10	教育関係者
北海道高等学校教育研究大会	30.1.11	教育関係者
帯広市豊成小学校・研修会	30.1.18	教育関係者
JICA課題別研修	30.1.26	教育関係者
旭川市スポーツ少年団・リーダー養成宿泊研修会	30.1.27	一般市民
倉吉市・包括的アセスメント研修会	30.1.27	教育関係者
倉吉市・子どもの発達支援研修会	30.1.28	教育関係者
空知教育局・地域連携研修	30.2.13	教育関係者
上川教育局・地域連携研修	30.2.15	教育関係者
社会福祉法人旭川ねむのき会職員研修	30.2.15	関係職員
日高教育局・地域連携事業外部講師講演会	30.2.20	教育関係者
石狩教育局・ミドルリーダー養成研修	30.2.22	教育関係者
留萌市教育委員会・フォーラム「特別支援教育を考える」	30.2.7	教育関係者
旭川市教育研究会・総括研究大会兼冬季研修会	30.2.9	教育関係者
北見地区広域社会教育推進協議会・社会教育・社会体育合同研究委員会	30.3.13	関係職員
上川町地域包括支援センター・多職種合同研修会	30.3.14	関係職員